

秋田市管弦楽団

第51回定期演奏会



指揮
佐々木 新平



チェロ独奏
羽川 真介

ブラームス

交響曲第4番ホ短調 Op.98 大学祝典序曲ハ短調 Op.80

ドヴォルザーク

チェロ協奏曲ロ短調 Op.104

開演の前に指揮者によるプレトークがあります

2017. **12/3** 日 14:00開演(13:00開場)
秋田市文化会館 大ホール

Ticket 一般・大学生 / 前売り1,000円(当日 1,200円) 小・中・高校生 / 前売り 500円(当日 600円)

チケット
前売り

caoca広場サービスカウンター / ヤマハミュージックリテイリング秋田店 (018-835-5091)
楽器のドック (018-832-0012) / カワイ楽器秋田ショップ (018-834-2137)
細川レコード店 (018-845-0020) / コンノ楽器 (0184-22-2489)

●お問い合わせ / 090-2272-3552(京野)

【主催】秋田市管弦楽団

【後援】秋田県教育委員会 / 秋田市 / 秋田市教育委員会 / 秋田県管弦楽連盟 / 秋田魁新報社 / 朝日新聞秋田総局 / 読売新聞秋田支局 / NHK秋田放送局
ABS秋田放送 / AKT秋田テレビ / AAB秋田朝日放送 / エフエム秋田 ●楽譜協力 / トヨタミュージックライブラリー

秋田市管弦楽団

第51回定期演奏会



指揮 / 佐々木 新平

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイトコンダクター。

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程で音楽学、桐朋学園大学にて指揮を専攻する。

これまでヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラ、H.アンドレシュク、M.ストリンガーの各氏に師事。特にパヌラ氏のマスタークラスには度々選抜され、2012年には成績優秀者として北オランダ交響楽団を、2013年には世界遺産エスコリアル修道院での演奏会を指揮した。2015年、第54回ブザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人へ選出。

2010年より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員をつとめ、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏をはじめとする指揮者のもとで研鑽を積んだ。在任中はアシスタント業務のほか文化庁公演をはじめ数々の公演を指揮する。

2013年からミュンヘンに留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。

コンサート以外でも、2015年公開の『マエストロ!』、2016年12月公開『海賊とよばれた男』劇伴指揮や劇中での指揮指導、安倍なつみのアルバム「光へーClassical & Crossover」のミュージックビデオでの指揮を担当するなど、多方面に活動の幅を広げている。

これまでに東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、東京混声合唱団、東京俊成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ他を指揮。

【オフィシャルサイト】 shimpei-sasaki.com



チェロ独奏 / 羽川 真介

東京芸術大学及び東京芸術大学大学院修了。札幌ジュニアチェロコンクール奨励賞受賞。大曲新人演奏会にて奨励賞受賞。Pacific Music Festival参加。P.M.Fオーケストラの首席奏者を務める。

学内にて「モーニングコンサート」に選ばれ、芸大フィルハーモニア管弦楽団と共演。練馬新人演奏会にて優秀賞受賞、芸大定期「室内楽」出演。東京ゾリステンのヨーロッパ公演に出演。2000年オーストリアのグラーツでおこなわれたIMPULUS現代音楽祭に招待参加。2002年4月芸大フィルハーモニア管弦楽団首席奏者に就任。

2001年～2003年国立音楽大学非常勤講師。2001年～2006年東京芸術大学非常勤講師。2011年アンサンブルofトウキョウとしてイタリア、モンテネグロの音楽祭に招かれ各地で室内楽を演奏、地元紙で高い評価を得る。2010年より大仙市の「夢の教室プロジェクト」に参加し、市内の小学校で講演と演奏を行っている。

これまでに藤原ケイ子、雨田光弘、北本秀樹、河野文昭の各氏に師事。現在、東京芸術大学管弦楽部非常勤講師。洗足学園音楽大学非常勤講師。アンサンブルコルディエ(東京ゾリステン)、アンサンブルofトウキョウメンバー。室内楽奏者として、ムジカ・ヴィッツ、楓弦楽四重奏団メンバー。東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団などに客演首席奏者として招かれている。

オーケストラ / 秋田市管弦楽団

1968年、市民各層の愛好者によるアマチュアオーケストラとして市長のバックアップの下で誕生。第1回定期演奏会は秋田県民会館、佐藤敏雄指揮により開催。第13回以降は、活動拠点を秋田市文化会館に移し、山本文章、江上孝則、岡田友弘、佐々木新平ほかの客演指揮者を迎え、団トレーナーの川口洋一郎、酒井貴、京野直行の指揮も加え、これまで50回の定期演奏会を開催。

この間、外山雄三、十東尚宏ほかの指揮で6回の「市民による第九演奏会」公演、秋田県民芸術祭公演、秋田県民オペラ公演、トヨタコミュニティコンサート、アトリオン・クラシックコンサート等において、熊田為宏、三枝成彰、増井信貴、小塚類、四反田素幸ほかの指揮でも演奏。1989年、秋田市制百周年記念事業：郷土創作オペラ「ねぶり流し物語」初演に参加、1990年同東京公演、1995年同再演に参加など市民に親しまれる活動を行う。1998年12月、堤俊作指揮による団創立30周年記念「第九演奏会」を開催。2003年には秋田県管弦楽連盟の一員として地元作曲家作品による演奏会「秋田の音・草創と今」を開催。秋田市建都四百年記念郷土創作オペラ「久保田城下町～押し花の愛」初演に参加。

2014年、秋田県で開催された「第29回国民文化祭・あきた2014」では、秋田県管弦楽連盟の一員として開会式・オープニングフェスティバルと「オーケストラの祭典」の開催を支えた。

この他に、2006年からは公共施設を会場にしたファミリーコンサートを毎年春に開催し、生のオーケストラを幅広い世代の方々に楽しんでいただくなど、市民に親しまれるオーケストラとして活動している。

1990年秋田市文化選奨、2001年木内音楽賞受賞。2008年度秋田県芸術選奨特別賞(ふるさと文化賞)受賞。

来年度、団創立50周年を迎える。

【秋田市管弦楽団ホームページ】 <http://akitasikangengakudan.jimdo.com>